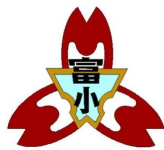


ガジュマルの聲



＜教育目標＞
『豊かな未来を拓く
児童の育成』

発行
五島市立富江小学校
校長 坂本 憲司

1学期を振り返って

1学期を振り返ると、子供達の成長を実感する場面がたくさんありました。各担任が発行する学級通信にも、子供達の頑張り・成長の様子が綴られていました。今回は、学校全体で見た子供たちの成長の様子をお知らせいたします。

1. 授業中の落ち着いた雰囲気

富江小学校は、五島市教育委員会の指定を受けて、「特別支援教育」の研究を進めています。11月2日に、五島市内の先生方をお招きして、研究発表会を実施します。研究の一環として、6月に佐世保市立大野中学校の諸熊修一校長先生、五島市教育委員会の蒲田指導主事・藤尾指導主事に御来校いただき、御指導いただく機会がありました。お三方が、次のようにおっしゃった言葉がとてうれしかったです。

- 学校の雰囲気が落ち着いているね。
- 子供たちが良い表情で授業を受けているね。

教育委員会の方々には、いろんな学校を訪問するので、学校の雰囲気を敏感に感じるそうです。「落ち着いて授業が行われている」というお褒めの言葉は、研究の成果が現れている証だと思います。励みにしていきます。研究内容については、後日改めて御紹介いたします。

2. 学力の向上

全校児童の1学期の成績を確認してみると、全体的に昨年度に比べて成績が向上しています。

- ◎：大変良い(目標を十分達成)
- ：良い(目標をおおむね達成)
- △：もう少し(努力してほしい)

全校的に、「△」の割合が減っています。先述した「落ち着いて授業が行われている」成果が、ここにも現れています。

3. 学校評価の数値向上

学校評価の結果を見ると、各項目の評価が前年度よりも向上しています。特に、子供たちの「楽しく学校生活を送っている(学校満足度)」「きまりを守る(規範意識)」等の向上が顕著でした。詳細は改めてお知らせいたします。

1学期の教育活動を総括し、2学期にさらに充実させることができるよう、職員一丸となって頑張ります。

パトリック先生、ありがとう！

18日(火)は、ALTのパトリック先生が富江小学校に勤務する最終日でした。業間の時間に、感謝の気持ちを込めて、送別集会を行いました。



パトリック先生の魅力を3つ挙げます。

1. 高い語学力

- (1) 五島弁も理解して普通に会話ができる

2. 五島の生活を楽しんでいた

- (1) 各学校の行事にも積極的に参加していた

3. おおらかで前向きな人柄

- (1) 怒ったり不機嫌な姿を見たことがない
- (2) 「まあ、いいか(日本語で)」が口癖?

5年間の五島勤務を終えて、今後は東京で翻訳のお仕事に就かれるそうです。いつも笑顔で子供達に楽しく英語を教えて下さったパトリック先生の御多幸をお祈り申し上げます。



● 終業式直前に、インフルエンザ感染者増加のために、学年閉鎖の措置をとることになりました。五島市内においては、コロナウイルス感染者も増加していると耳にしております。子供たちができる限りの感染防止対策を心がけ、楽しい夏休みを過ごせることを願っております。